

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の 利用目的及び 利用方法》	●研究の名称 OCT,OFDI 撮影時における LMDL をインジェクターで注入した際の有用性
	●研究の対象 2021 年 7 月から 2024 年 8 月に LMDL を使用して OCT,OFDI を観察した方 40 名
	●研究の目的 OCT/OFDI は画像取得の際に冠動脈内部の血球を除去するため、造影剤を冠動脈内部に注入する必要がある。慢性腎不全の患者に対しては造影剤が使いづらく、代替品に低分子デキストラン L (low molecular weight dextran:LMDL) を用いることが循環器ガイドラインにおいて推奨されている。従来は,LMDL を詰めたシリンジを手で注入することにより血球除去を行っているが,注入圧力と量が不安定であるため注入速度が不均一となり,OCT/OFDI 画像の描出不良が生じることがある。 そこで,本研究ではインジェクターでの LMDL を注入と、手押しによる LMDL の注入とで得られた画像の比較検討を目的とする。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から) 2026 年3月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
●他の機関に提供する場合には、その方法	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	<p>●研究に使用する試料・情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手技対象患者背景：身長，体重，BMI,年齢，性別，既往歴， ・手技対象患者冠動脈背景：冠動脈内腔,収集した冠動脈の距離,使用したガイディングカテーテル,インジェクターレート
《利用する者の範囲》	<p>●機関名および責任者名</p> <p>研究機関：浜松医科大学医学部附属病院 研究責任者：内科学第三講座 茂木聡</p>
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
《問い合わせ先》	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 医学部附属病院放射線部</p> <p>担当者： 堀田大輝</p> <p>TEL： 053-435-2735</p> <p>E-mail： 53935041@hama-med.ac.jp</p>